

ウクライナの平和への祈りを込めて

横浜市庁舎に献花台と募金箱・全区役所に募金箱を設置します！

ロシアによるウクライナ侵攻によりウクライナ国民の生活に支障が生じていると共に、多数の犠牲者も出ています。犠牲になった市民への哀悼と平和への祈りを込めて、横浜市庁舎に献花台と募金箱を、全区役所に募金箱を設置します。

1 期間

令和4年3月10日（木）から4月11日（月）まで

※3月10日（木）のみ、設置時間が異なりますのでご注意ください。

※終了時期は変更となる可能性があります。

【山中市長・清水議長・高橋副議長による献花について】

市庁舎への献花台の設置開始にあたり、3月10日（木）10時45分から、山中市長、清水議長、高橋副議長が献花します。

この日に限り、一般の方の献花・募金は11時00分に開始します。

※取材について

取材を希望する場合は、10時30分までに献花台付近にお越しくください。

2 設置時間

(1) 横浜市庁舎

献花台：9時00分から19時00分まで

募金箱：9時00分から17時00分まで（土日祝日を除く）

※3月10日（木）のみ、11時00分開始となります。

(2) 各区役所

募金箱：9時00分から17時00分まで（土日祝日を除く）

※各区役所の募金箱は、3月10日（木）準備が整い次第設置します。

3 設置場所

横浜市庁舎 1Fロビー（ラクシスフロント前） ※裏面のとおり

各区役所 区庁舎内

4 経緯等

ウクライナ・オデッサ市は1965年から交流を続けている大切な姉妹都市です。また、国連からピースメッセンジャー都市の称号を受けた横浜市としても、現在のウクライナ情勢は看過できません。犠牲になった市民への哀悼と平和への祈りをこめて、献花台と募金箱を設置します。

裏面あり

5 募金について

集まった募金は、ウクライナ赤十字社を通じ、現地の支援に役立てていただきます。

【ウクライナ・オデッサ市と横浜市との交流について】

横浜市とオデッサ市は、共に戦火による焦土の中から復興したこと、国際港湾都市であることをご縁として、1965年に姉妹都市提携を行い、医療・スポーツ交流や市民団体訪問等の交流を続けています。

東日本大震災に際し、2011年4月にオデッサ市民及びオデッサ第60学校から義援金をいただき、横浜市を通じて被災地に寄付しています。

【参考1】ロシアによるウクライナ侵攻を受けた横浜市の動き

- ・横浜市長コメントの発出

(横浜市会議長コメントとともにオデッサ市へも共有)

- ・ウクライナ情勢の影響に伴う市内中小企業向けの特別経営相談窓口の設置 (経済局)
- ・ウクライナ国旗カラーによる市庁舎ライトアップ
- ・オデッサ市長と横浜市長、横浜市会議長・副議長とのオンライン会談
- ・市庁舎への献花台、募金箱の設置 (※本記者発表における取組)

【参考2】市庁舎献花台・募金箱設置場所



お問合せ先

(献花台と募金箱設置について)	国際局国際協力課長	佐藤 亮太郎	Tel 045-671-2078
(オデッサ市との交流について)	国際局国際連携課欧州米州担当課長	池庄司 リサ	Tel 045-671-4721